



## 平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月14日

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所 東  
 コード番号 3674 URL https://aucfan.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武永 修一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼経営管理部長 (氏名) 帖佐 勇志 TEL 03(6809)0951  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	3,979	41.7	143	△21.0	151	△47.9	42	△87.8
29年9月期第3四半期	2,807	47.9	181	△38.0	290	△4.9	346	9.4

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 40百万円 (△88.8%) 29年9月期第3四半期 364百万円 (28.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	4.30	4.18
29年9月期第3四半期	35.19	33.45

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	5,701	2,547	44.2
29年9月期	4,216	2,506	58.6

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 2,518百万円 29年9月期 2,471百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期	—	0.00	—		
30年9月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	64.1	450	119.2	450	48.6	270	23.3	27.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 株式会社ネットプライス、 除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年9月期3Q	9,910,000株	29年9月期	9,907,500株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	53,200株	29年9月期	53,200株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年9月期3Q	9,854,419株	29年9月期3Q	9,841,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「あらゆる人が、あらゆる場所で、あらゆるモノを売り買いできる新たな時代を創る」というミッションを掲げ、「グローバルな循環型消費社会の先駆者であり続ける」というビジョンのもとに、ネットオークション・ショッピングの比較検索サイト「オークファン」をはじめとした情報提供(インターネットメディア)事業、卸企業様・メーカー様等を対象としたマーケットプレイス運営事業及び、インターネット上での販売活動支援等を行うソリューション事業を展開しております。

当社グループは、消費者に届けられることなく廃棄される約22兆円の法人在庫(※)に着目し、創業来蓄積した大量の商品実売データを基に、これらの在庫を「適切な価格で」「適切なマーケットに」お届けする支援を行って参りました。特に、2017年12月からはお買い得品EC事業の株式会社ネットプライスを子会社化し相場データのみならず、自ら積極的に流通に関与するマーケットプレイス事業への本格展開も果たしました。

本年度は、22兆円の巨大市場の攻略に向け、事業の選択と集中を実施しながら事業推進を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,979,447千円(前年同四半期比41.7%増)、営業利益は143,163千円(同21.0%減)、経常利益は151,548千円(同47.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は42,376千円(同87.8%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

#### (メディア)

当セグメントは、創業来のデータの収集・解析基盤及び、これらのデータを活用したインターネットメディア(aucfan.com)の運営を主とした当社グループの基盤となるセグメントであります。第2四半期に開発・販売促進活動を進めてきた当社流通相場データを活用した新規サービスや、オークション教育・個別サポートサービス「オークファンスクール」など周辺サービスが業績を牽引し、売上高1,301,844千円、営業利益44,368千円となりました。

#### (マーケットプレイス)

当セグメントは、22兆円の巨大市場への足がかりとして最も重要なセグメントであると位置づけております。法人向け商品流動化支援事業「リバリュー」及び国内最大級のBtoB仕入れサイト「NETSEA」においては積極的な事業拡大の優先、また2017年12月から当社の連結子会社となった株式会社ネットプライスの収益貢献の影響もあり、売上高2,296,437千円、営業利益66,037千円となりました。

#### (ソリューション)

当セグメントは、データとマーケットプレイス(販路)を繋ぐ戦略的投資事業を含む、当社グループにとって重要なセグメントであります。複数のEマーケットプレイスへの同時出品・在庫連動等が可能なASPサービス『タテンボガイドNEXT』の安定的な黒字化に向けた費用の見直し、また当第3四半期から連結子会社となった株式会社ゼロディブの早期の収益化により、売上高323,149千円、営業損失52,938千円となりました。

#### (インキュベーション)

当セグメントは、事業投資活動を通じて、当社が中長期に亘り競合優位性を構築・維持していくための知見とネットワークを得ることを目的とした事業セグメントであります。当第3四半期においては、保有しております会社株式の売却が発生しなかったため、売上高119,141千円、営業利益75,462千円となりました。

※ 出所：平成28年度法人企業統計(財務省)などを基に当社試算

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、5,701,214千円(前連結会計年度末は4,216,731千円)となりました。

流動資産は、3,870,924千円(前連結会計年度末は2,476,630千円)となりました。主な内訳といたしましては、現金及び預金が737,801千円増加、売掛金及び受取手形が288,241千円増加、営業投資有価証券が390,799千円増加した結果であります。

固定資産は、1,827,806千円(前連結会計年度末は1,736,686千円)となりました。主な内訳といたしましては、ソフトウェアが158,556千円増加、のれんが74,909千円減少した結果であります。

繰延資産は、2,483千円(前連結会計年度末は3,415千円)となりました。内訳といたしましては、社債発行費が931千円減少した結果であります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、3,153,808千円(前連結会計年度末は1,710,720千円)となりました。

流動負債は、1,819,241千円(前連結会計年度末は1,132,652千円)となりました。主な内訳といたしましては、買掛金が205,729千円増加、1年内返済予定の長期借入金が183,239千円増加、短期借入金が200,000千円増加した結果であります。

固定負債は、1,334,567千円(前連結会計年度末は578,068千円)となりました。主な内訳といたしましては、長期借入金が876,880千円増加、社債が125,000千円減少した結果であります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,547,405千円(前連結会計年度末は2,506,011千円)となりました。主な内訳といたしましては、利益剰余金が42,376千円増加した結果であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の第3四半期連結累計期間は、第1四半期にソリューションセグメントにおいて発生した一時的な費用等の影響により、当初計画からは一部乖離した推移となりました。一方で、当期計画しておりました事業の選択と集中が順調に進捗しており、第4四半期からは各セグメントにおける収益基盤の大幅な強化を見込んでおります。したがって、当社の連結業績予想については、平成29年11月13日に公表した業績予想に変更はございません。なお、業績見通しに変更が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,028,960	1,766,762
受取手形及び売掛金	356,107	644,348
営業投資有価証券	493,933	884,732
商品	195,361	195,588
仕掛品	—	50,941
貯蔵品	73	473
繰延税金資産	107,437	99,798
未収入金	260,741	138,428
その他	82,054	126,486
貸倒引当金	△48,039	△36,635
流動資産合計	2,476,630	3,870,924
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	70,756	71,178
工具、器具及び備品（純額）	64,490	52,426
その他（純額）	578	3,675
有形固定資産合計	135,825	127,280
無形固定資産		
のれん	733,241	658,331
ソフトウェア	363,183	521,740
その他	56,231	119,900
無形固定資産合計	1,152,656	1,299,972
投資その他の資産		
長期貸付金	60,000	60,000
繰延税金資産	199,593	136,171
その他	188,610	204,381
投資その他の資産合計	448,204	400,553
固定資産合計	1,736,686	1,827,806
繰延資産		
社債発行費	3,415	2,483
繰延資産合計	3,415	2,483
資産合計	4,216,731	5,701,214
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	127,579	333,309
短期借入金	100,000	300,000
1年内償還予定の社債	125,000	125,000
1年内返済予定の長期借入金	295,215	478,454
未払法人税等	60,148	13,179
未払金	240,957	251,166
ポイント引当金	1,307	3,395
その他	182,443	314,736
流動負債合計	1,132,652	1,819,241
固定負債		
社債	250,000	125,000
長期借入金	328,068	1,204,948
その他	—	4,619
固定負債合計	578,068	1,334,567
負債合計	1,710,720	3,153,808

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	678,414	678,806
資本剰余金	649,184	649,576
利益剰余金	1,176,807	1,219,183
自己株式	△43,251	△43,251
株主資本合計	2,461,154	2,504,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,466	13,774
その他の包括利益累計額合計	10,466	13,774
新株予約権	21,346	21,159
非支配株主持分	13,044	8,156
純資産合計	2,506,011	2,547,405
負債純資産合計	4,216,731	5,701,214

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成28年10月1日 至平成29年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成29年10月1日 至平成30年6月30日）
売上高	2,807,511	3,979,447
売上原価	1,377,186	2,095,282
売上総利益	1,430,325	1,884,164
販売費及び一般管理費	1,249,116	1,741,001
営業利益	181,209	143,163
営業外収益		
受取利息及び配当金	735	246
為替差益	5,000	1,010
投資事業組合運用益	9,261	—
投資有価証券売却益	92,861	—
その他	14,301	15,892
営業外収益合計	122,161	17,148
営業外費用		
支払利息	7,468	6,189
投資有価証券評価損	4,221	—
その他	1,034	2,574
営業外費用合計	12,724	8,763
経常利益	290,645	151,548
特別利益		
投資有価証券売却益	382,226	—
新株予約権戻入益	—	182
事業譲渡益	—	13,698
その他	7,036	—
特別利益合計	389,263	13,880
特別損失		
固定資産除却損	46,061	1,788
子会社移転費用	—	4,449
減損損失	10,787	—
過年度決算訂正関連費用	39,331	—
その他	6,260	—
特別損失合計	102,440	6,237
税金等調整前四半期純利益	577,468	159,191
法人税、住民税及び事業税	146,505	52,582
法人税等調整額	84,662	69,120
法人税等合計	231,167	121,703
四半期純利益	346,300	37,487
（内訳）		
親会社株主に帰属する四半期純利益	346,300	42,376
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	—	△4,888



(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	17,769	3,308
その他の包括利益合計	17,769	3,308
四半期包括利益	364,070	40,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	364,070	45,684
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△4,888

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社ネットプライスの全株式を取得し同社を子会社としたため、連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を平成29年12月31日としているため、第1四半期連結会計期間では貸借対照表のみを連結し、第2四半期連結会計期間より四半期損益計算書を連結しております。

第2四半期連結会計期間において、株式会社ゼロディプの全株式を取得し同社を子会社としたため、連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を平成30年3月31日としているため、第2四半期連結会計期間では貸借対照表のみを連結し、当第3四半期連結会計期間より四半期損益計算書を連結しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	メディア	マーケット プレイス	ソリューシ ョン	インキュベ ーション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,177,202	1,238,988	391,321	—	2,807,511	—	2,807,511
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58,915	8,565	20,130	—	87,611	△87,611	—
計	1,236,117	1,247,554	411,451	—	2,895,123	△87,611	2,807,511
セグメント利益又は 損失(△)	114,286	144,922	△83,761	—	175,448	5,760	181,209

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去5,760千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「メディア」セグメントにおいて、のれん及び無形固定資産(その他)の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、前第3四半期連結累計期間においては10,787千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「メディア」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したため、のれんが減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は、前第3四半期連結累計期間においては10,499千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	メディア	マーケット プレイス	ソリューシ ョン	インキュベ ーション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,249,594	2,295,517	315,193	119,141	3,979,447	—	3,979,447
セグメント間の内部 売上高又は振替高	52,250	920	7,955	—	61,125	△61,125	—
計	1,301,844	2,296,437	323,149	119,141	4,040,573	△61,125	3,979,447
セグメント利益又は 損失(△)	44,368	66,037	△52,938	75,462	132,930	10,233	143,163

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去10,233千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間に、「マーケットプレイス」セグメントにおいて、株式会社ネットプライスの全株式を取得し子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、27,799千円であります。

また、第2四半期連結会計期間に、「ソリューション」セグメントにおいて、株式会社ゼロディブの全株式を取得し子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、12,333千円であります。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

第1四半期連結会計期間において、インキュベーション事業を新設したことに伴い、「インキュベーション事業」を報告セグメントに追加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。